

里山保全再生活動団体のつどい

～みどり豊かな明るい里山の復元をめざして！

市内で活動するボランティア団体や市民の方々が意見交換や交流する場として、活動のさらなる発展を目指し開催しました。

平成 19 年 10 月 27 日（土）28 日（日）

表丹沢野外活動センター 参加者：144 名

○ 講演「モデル事業のこれまでの展開と今後の期待」

里地ネットワーク事務局長 竹田純一氏

里地里山保全再生モデル事業の報告と、今後の期待について語っていただきました。



○ パネルディスカッション

「みどり豊かな明るい里山の復元を目指して！」

6 団体から活動の事例発表と、今後の展開、栗野の里山の未来について考えました。



北小学校 5 年 4 組のみなさん
「里山林の下草刈りともち米古代米作り」

里山保全再生活動団体のつどい

～みどり豊かな明るい里山の復元をめざして！



名古屋里山を守る会 関野勝政氏
「県の里山支援モデル事業の参加と今後の展開」



四十八瀬川自然村 小野均氏
「NPO 法人化と里地里山保全活動」



里山ボランティア養成研修生代表 畔柳信行氏
「研修講座の参加と秦野の里山保全」



菩提生産森林組合 山口行雄氏
「組合活動と地元の森林保全」



環境省環境専門官 青木氏より



秦野市環境産業部長より

里山保全再生活動団体のつどい

～みどり豊かな明るい里山の復元をめざして！～



会 場

○ 竹とうろうの点火

里山の保全と本市で開催される第62回全国植樹祭の成功を祈り、参加者全員で竹とうろうの点火を行いました。本来は外で1,000本の竹を点火させる予定でしたがあいにくの大雨で室内での点火になりました。この竹は、9月に実施した上地区の竹林整備で搬出されたものを利用しました。



水ろうそくを片手に水が入った竹に点火しました。

○ 懇親会

交流を深めていただくため、地元料理を堪能しながら懇親会を行いました。



里山保全再生活動団体のつどい

～みどり豊かな明るい里山の復元をめざして！～



古代米の赤飯、モデル事業で作られたもち米からのお餅、鹿シチューなどが並びました。

○ 北地区里山めぐり～28日

地図を片手に北地区の里山を散策しました。さつまいも掘り体験、茶園見学、葛葉の泉までの散策など参加者各自が秋の里山を自由に参加しました。



いも掘り会場では多くの参加者が。